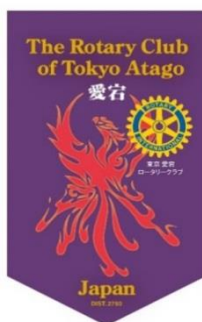


No. 26 2015/2/10

WEEKLY REPORT 2014~2015



東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹
副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次
副会長 波多野まみ
例会場 東京アメリカンクラブ
例会日 毎週火曜日 8:00~

～四つのテスト～

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行おう

2015年2月10日(火)
今年度第27回(通算63回)例会
本日のプログラム

<卓話>

ザクセスコンサルティング株式会社
代表取締役、キセキノメイシ運営
鬼頭 秀彰 様

■2015年1月27日 会長挨拶 会長 尾関 勇

スポーツの事について、久木留先生にお話を伺うのを大変楽しみに参りました。スポーツに関し、ロータリーの奉仕活動でどんなことができるのか考えてみましたが、二つあると思います。一つはマイナーなスポーツに目を向けた方がいいと思います。フェンシングの太田雄貴選手の講演を拝聴し、大変マイナーなスポーツだと仰っていました。そういったことに支援をしなければ広がらないと。テニスも人氣が廃れ、コートはフットサル場になっていき、冷遇の時代がありましたが、錦織選手の活躍は皆を何か熱くするものがある、これは大事だと非常に感じました。もう一つはロータリアンとして何が出来るのか、以前も申し上げた、港区スポーツ文化ふれあい健康会館がありまして、港区で最も予算を使いスポーツ行政を行っている団体があります。田町駅前には、全国一の規模の施設を540円で使用できます。そこで子供たち向けに何かできないかと思っております。皆様方で一度見学会を行いたいと思っております。理事長もぜひいらしてくださいとのことです。相撲の土俵から武道場、もちろんプールやマシン等ご覧になられてください。全国屈指の人口増加区ですから、その子供たちには何かできないかと考えています。

話は変わりますが、ロータリーデーの設定をチャリティで考えています。4月14日(火)夜のスケジュールですので、ご協力をお願いいたします。ロータリーデーはロータリーを考えるという事ですが、皆さんに配布いたしますが、日本のロータリー2020年新世紀ビジョンということで、ここで本を発刊すると。日本の東京ロータリーができて100周年だそうで、世界のロータリーは2005年に100周年を迎え「奉仕の一世紀」という本ができましたが、600字程度で提言を出してくださいとありました。クラブも在籍年数も若い私達が出す意義はあると思います。次につなげるべき何かを書ければと思います。

本日の卓話でしっかり勉強させていただいて、JOCまたは日本のアスリートの方に何が出来るか、学んでいただきたいと思います。明後日、シアトルRCでメーキャップをさせて頂きます。パナー交換とPeacemakingCircleの活動もありますので、登録をお願いしました。サイさんと伺いますので、またご報告させていただきます。

<1月27日の卓話>

公益法人日本オリンピック委員会・
情報戦略部門長、専修大学文学部教授
久木留 毅 様

『Beyond 2020年東京オリンピック・パラ
リンピックのために - 5つのポイントを考え
る』

スポーツの世界は、皆さんご承知の通り、2020年東京で開かれるオリンピック・パラリンピックが注目されております。今回「Beyond 2020」と紹介したいと思ったのは、日本にとって最も大切なのは、実は2020年の後だと思っているからです。私は2013年の4月1日イギリスへ行き、4月～6月でペルー・リマ、ロシア・サンクトペテルブルグ、アメリカ・ニューヨークで招致に関する情報収集を行っていました。その時強く感じたのは、海外で日本は情報収集力が大変弱い、つまりネットワークがないということです。現場と言われる競技の部分は頑張っていますが、外交と言われる組織的なネットワークが弱いと感じていました。そして招致によって最も変わったと思うのは情報を得る力、情報提供することが沢山出来る日本になったため、力が付いたと感じました。反面、2020年が終わったらまた弱い日本に戻ってしまうのではという懸念があります。改めて考えさせられるのは、恐らく港区は世界への情報の発信地になります。その中で私達スポーツ界は港区と、もしくはロータリーの皆さんと何が出来るのか常に考えています。東京オリンピック・パラリンピックの成功は、パラリンピックをいかに成功させるかだと言われています。なぜなら、オリンピックは自然災害やテロが無ければ間違いなく成功するでしょう。昨年ソチへも行ってきました。ものすごい開発でしたが、今は既に廃墟です。2004年アテネも廃墟、2008年北京でもスタジアムはあまり使われていません。開催する時はマスコミも盛り上げますが、終わってからは施設はほぼ使われないのが実情です。そのため、オリンピック終了後、どう使われるのが非常に重要であります。ロンドンオリンピック・パラリンピックは、近年最も成功したと言われています。

オリンピック・パラリンピック成功のレガシーと言い、よく遺産という言葉を使います。遺産の中にはハード・ソフトとがあり、何を残せるのが重要です。とはいえ、ビジネスとして成功しなければならないため、実際にどんなレガシーを生み出したのか。簡単に言うと、まずスポーツの振興です。ボランティアは7万人参加したと言われています。そして上手なのが、ボランティアと言わず、「ゲームメーカー」と呼びました。あなたたちが作るのだと。私がいたラフバラ大学はオリンピックの事前合宿地で、全てのボランティアを「メダルメーカー」と名付けていました。7万人のところ25万人が集まったそうです。その他にスポーツの振興では、色々やっていて、インターナショナルインスピレーションプログラムがあり、20か国に1,200万人の若者を出し、色々なイギリスのスポーツを教えるべくと。日本真似るの上手いので、色々な指導者や出したりといった試みを行っています。スポーツの良さを紹介するプログラムもあります。それにより、週1回スポーツを行う人が、オリンピック後に140万人増えたそうです。経済の活性化という意味では、820万枚のチケットが売れたり、全世界37億人がテレビを見

ました。ロンドンでは、全ての競技をネットで無料配信するという、初めての試みを行いました。3番目に42のテストイベントを行いました。これは非常に大事で、オリンピックが来るのはわかっています。19年にはラグビーのワールドカップが日本に来ます。17年も16年も色んな大会決まっています。その時に東京都は何をするのか。ロータリークラブは何をするか等が非常に重要になってきます。言葉の問題、場所の問題等、そういったところで色々なことができます。最も経済に貢献したもしくは、ロンドンに招致した一番の目的は東ロンドン地区の再開発をなんとかしたいという思いがありました。やはり一年後に東ロンドン地区に行くと、大きなショッピングモールがいくつかあり、選手村も住宅販売し、かなり安価な値段で貸しい層に提供しています。iCITYというインターネットを活用した街を作ろうと、実はこの中にラフバラ大学のロンドン地区もできています。教育シティとして町を活性化していく。要するに、オリンピック・パラリンピックというイベントを通じて、町を変え、ビジネスに結び付ける、これがロンドンは上手かったと思います。日本もどのようなことを学んでいくのか。機会を最大限に生かすには予算の流れを一元化する、競技団体のガバナンスを強化していく、競技団体の体質を改善する、個人商店からグローバルカンパニーへ、スポーツ界にイノベーションを起こす。イノベーションは技術革新と言う人もいれば、3つの革新だと言う人もいます。誰も見たことも聞いたこともない、実現可能なもの、物議を醸した、この3つです。スポーツ界にどんなイノベーションを起こすのかと真剣に考えています。僕はスポーツの中にどっぷり浸かっていると、間違いなくスポーツはいいと思っています。だが、スポーツは良いという村を作っていて、その外の声をあまり聞いていません。これを機会に、色々な人のスポーツの改善した方がいいという声を聞き、逆にそれに対してスポーツがこういうことが出来る、提供できるというようなことをしていく必要があります。この機会を最大限に生かすために、予算の流れが重要です。

今年の文科省の予算5兆3600億のうち、スポーツという競技力向上に充てる予算は、わずか255億円だけ、これがスポーツの実態で

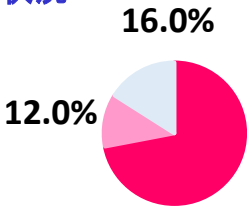
す。ただオリンピックが来たことで34億円アップ、12%増です。文科省自体の予算が1.1%増のうちの12%増です。つまり、文科省の中でスポーツはお金になるとわかり始めているということです。恐らく9月10月頃、国会でスポーツ庁の設置が成立しますと、予算は倍以上になります。恐らく、2020年を迎えるころは予算は1,000億近くになるでしょう。ただし、2020年を超えたところでぐっと下がっていくと思います。そうすると、今いくつもある蛇口を一つにするという、予算の流れの一元化が重要になってきます。たとえば国のお金でレスリング協会にJOCを通して1億円の強化費をもらうには、競技団体が3分の1負担が必要です。つまり、3,330万円を用意しないと、後の6,660万円が使えないのです。自己財源がない団体は、お金を返却することとなります返却した結果どこに行くか。お金のあるサッカー協会が吸収していくのです。港区の様に財源があるところはいいが、ない団体は取った方がいいが、返さなければならないのです。予算の流れを一元化し、出来るだけ負担を少なくするのが十分必要だと思います。そして体質改善も重要です。日本スポーツ庁のデザインには、民間のアイデアを入れることも必要になるでしょう。スポーツは、今変わろうとしていることを多くの方々に知って欲しいと思います。



◆◆ 出席報告 ◆◆

2015年1月27日 出席状況

- ・会員数 25名
- ・出席者 18名
- ・ビジター 3名
- ・ゲスト 0名



出席率内訳

- 当日出席数(18)
- 修正出席数(3)
- 欠席数(4)

修正出席率
84.0%

《目標出席率》
本例会50% 修正100%

◆ニコニコBOX◆ ￥10,000 累計総額 ￥359,480

・今日は久木留先生のお話を楽しみにして参りました。(尾関)Beyond2020、大変楽しみです。久木留先生、ご来会ありがとうございます。(若山)・久木留先生のお話楽しみにしています。(佐藤ますみ)・久木留先生本日はありがとうございます。丸山さん、インフルエンザ復帰できましたか？(山田)・久木留様、本日の講演楽しみにしております。(塩沢)・赤坂ロータリークラブの例会は金曜日12:30～です。ANAインターコンチネンタルでやっています。ぜひいらして下さい。(東京赤坂RC・西澤民夫様)・宇和島へ出張メーキャップします。よろしくお願いします。(東京西RC・岩城義親様)

2月・3月のプログラム

- ◇2/10(火)18:30～ 第3回創業支援塾@国際文化会館
- 2/17(火)スピーチなし、8:30～第4回クラブ協議会<ビジター・ゲスト様には8:30でご退会いただきます>
- 2/24(火)朝例会なし ⇒ 地区大会に振替
- 2/24(火)・2/25(水)地区大会@グランドプリンス新高輪<該当者のみ>※欠席者は各自メーキャップをお願いいたします。
- 3/3(火)イニシエーションスピーチ:石井知会員(株式会社先進知財総合研究所取締役社長、愛宕RC職業奉仕委員長)
- 3/10(火)イニシエーションスピーチ:Paul Tsai会員(フィデリティ投信株式会社調査部長、愛宕RC国際奉仕委員長)
- 3/17(火)卓話:西岡慎也様(株式会社ファッションスタイリストジャパン代表取締役)
- 3/24(火)卓話:寺田朗子様(国境なき子どもたち会長)
- 3/31(火)休会(規定による)<7:45～8:15 メーキャップ対応あり>

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL:03-3568-3827 / FAX:03-3568-3829 / E-mail:office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

